

(前年度予算額：253百万円)
29年度概算要求額：392百万円

オリパラ教育の必要性

- 2020年まで約4年となるなか、オリパラ・ムーブメントの推進が必要。特にパラリンピックへの関心向上が課題。
- オリパラ教育は、大会そのものへの興味関心の向上だけでなく、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等、多面的な教育的価値を持つ。我が国の無形のレガシーとして、オリパラ教育の推進が重要。

現在の進捗

○平成27年度オリパラ・ムーブメント調査研究事業



筑波大学

宮城県

京都府

福岡県

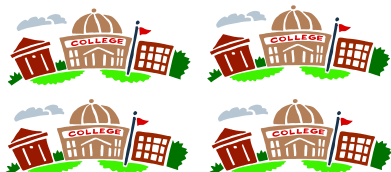
- ・各地域の教員へのセミナーの実施
- ・オリパラ市民フォーラムの開催
- ・オリパラ推進校



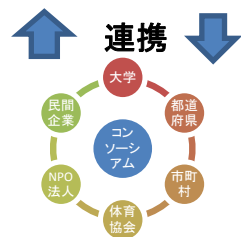
各地域で実践的な調査研究を実施

調査研究の事例も踏まえ

○平成28年度オリパラ・ムーブメント全国展開事業



- 全国(12箇所程度)で、オリパラ教育を実施
- ・各地域でのセミナー
 - ・オリパラ推進校
 - ・オリパラ競技体験
 - ・市民フォーラムの開催



×12程度

今後の展開予定

